

## 1. キャンペーン実施道の駅・チラシ配布実施箇所の状況

### キャンペーン実施道の駅でのパネル展示状況



道の駅「清水の里・鳥海郷」の  
パネル展示

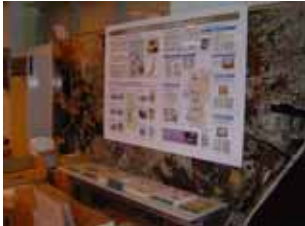


道の駅「しろうわ」のパネル展示

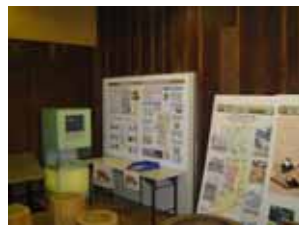


森吉山ダム広報館「モリトピア」  
の展示状況

### 道路資料館「みちあむ」・みちのくの湖畔公園パネル展示・チラシ配布状況



道路資料館「みちあむ」展示状況  
(宮城県仙台市)



国営みちのくの湖畔公園 ふるさと村  
本荘由利の家展示状況(宮城県川崎町)

## 2. キャンペーン実施道の駅等リーフレット配布状況

道の駅・施設名	配布部数
道の駅「ふたついで」	6,700
道の駅「てんのう」	2,850
道の駅「しろうわ」	2,000
道の駅「協和」	6,750
仙岩情報ステーション	375
道の駅「雁の里せんなん」	2,400
道の駅「清水の里・鳥海郷」	6,000
合計	27,075

キャンペーン期間(7/30~10/10)の集計

リーフレットは5種類あり、道の駅等7ヶ所でキャンペーン期間中27,000枚以上配布。



道の駅「ふたついで」



道の駅「てんのう」「しろうわ」



道の駅「協和」



道の駅「雁の里せんなん」



道の駅「清水の里・鳥海郷」

## 3. キャンペーンチラシ配布状況

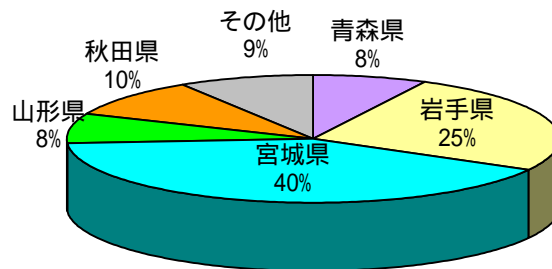
チラシ配布実績

H17: 配布枚数40,000枚

H16: 配布枚数30,000枚

H17は、昨年度のアンケートの結果、県外での菅江真澄の知名度が低かったことをふまえ、チラシ配布枚数 40,000枚の内、約25%を岩手、約40%を宮城に配布し、県外客への知名度向上に重点を置いた。  
(参考: H16は30,000枚の内、約36%を秋田、約36%を宮城に配布。)

チラシ県別配布先



キャンペーンチラシ配布先県別割合

#### 4. ボランティアガイド実施結果


実施内容 ボランティアガイド実施道の駅: 「てんのう」「しょうわ」「協和」 3ヶ所  
(参考: H16は道の駅「てんのう」1ヶ所のみ)

ボランティアガイド実施団体 : 9団体(うち、1団体は打ち合わせ会のみ参加)  
また、ボランティアガイドの公募に対し、一般の方が1名参加し、ガイドを実施。


ボランティアガイド実施人数 : 49名

説明人数 : 約1,500名


道の駅「てんのう」  
期 間: 7/30・7/31・8/3～8/7・8/13・8/14・  
8/20・8/21・8/27・9/3・9/4(計14日間)  
実施団体: 男鹿市菅江真澄研究会  
NPO法人 なまはげエリア創造委員会  
男鹿半島案内ボランティアの会  
ボランティアガイド: 28名  
説明人数: 約1000名



道の駅「しょうわ」  
期 間: 7/30・8/3・8/4・8/27(計4日間)  
実施団体: 天王 史談会  
瀧船保存会  
石川翁顕彰会(打ち合わせ会のみ参加)  
一般公募 個人ボランティア  
ボランティアガイド: 10名  
説明人数: 約100名



道の駅「協和」  
期 間: 7/30・7/31・8/3～8/7(計7日間)  
実施団体: 菅江真澄研究会  
秋田県民俗学会  
ボランティアガイド: 11名  
説明人数: 約400名

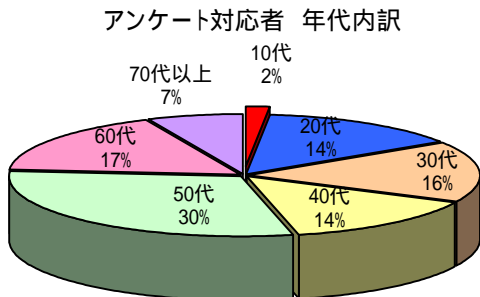


ボランティアガイドを体験した人の声

県内客より県外客の方が熱心に耳を傾けてくれる人が多かった。  
ガイド実施者の感想としては、真澄の知名度が向上していると感じた人もいる。  
ボランティアガイド実施者としても旅行者とふれあえることで、楽しいという意見が多かった。

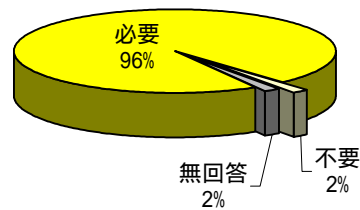
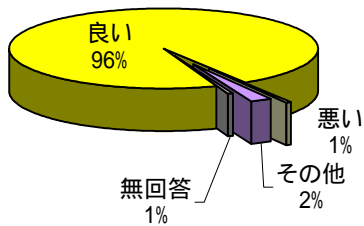
#### 道の駅てんのうにおけるボランティアガイドに対するアンケート結果

調査日 : 2005年8月21日・9月3日～4日  
実施箇所 : 道の駅てんのう 菅江真澄パネル展前  
回答者 : 入館者183名



年代別にみると、50代の割合が大きいが全体的に20～60年代全体で平均している。

Q: ボランティアガイドにどのような印象を受けましたか Q: ボランティアガイドは必要だと思いますか



ボランティアガイドへの印象は96%が良いと答えており、利用者への印象は好印象であるといえる。また、ボランティアガイドの必要性についても96%が必要と答えており、ボランティアガイドの実施効果が高いことを示している。

## 5. アンケート結果について

仙台市周辺でのアンケート結果

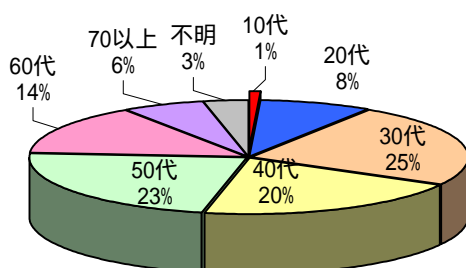
調査日: 2005年9月18日~19日

実施箇所: ハイウェイコミュニケーションin東北2005 仙台市勾当台公園

国営みちのく杜の湖畔公園内ふるさと村(川崎町・9月18日のみ)

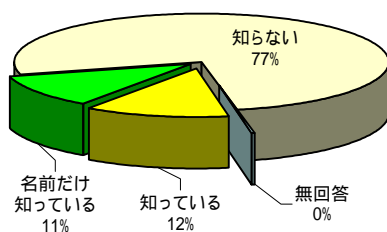
回答者: 242名(勾当台公園143名、湖畔公園99名)

アンケート対応者 年代内訳(全体)

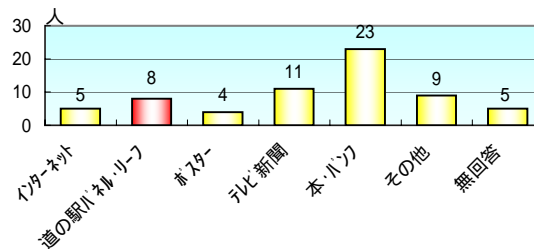


ハイウェイコミュニケーションと国営みちのく杜の湖畔公園のアンケート対応者をあわせた年代内訳を見ると、30~50代で70%近くを占めており、中間年齢層の割合が高かった。

Q: 菅江真澄を知っていますか



Q: 知っている方は何で知りましたか(複数回答可)

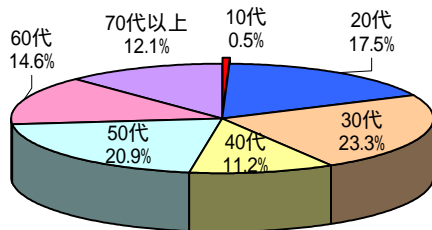


「知っている」「名前だけは知っている」と答えた人を合わせると23%。昨年の仙台での調査時は「知っている」と答えた人は17%だったので、数値は6%上昇。  
また、知った手段として「道の駅のパネル・リーフレット」と答えた人が8名おり、取り組みの効果が現れてきているようだ。

道の駅てんのうにおける菅江真澄の足跡と秋田の魅力再発見の取り組みに対するアンケート結果

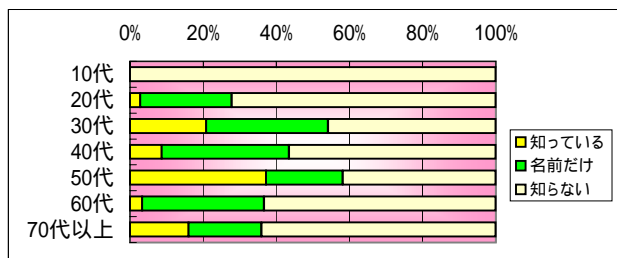
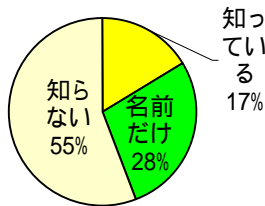
調査日：2005年8月21日、9月3日～4日、10日  
 実施箇所：道の駅てんのう 菅江真澄パネル展前  
 回答者：入館者206名

アンケート対応者 年代内訳

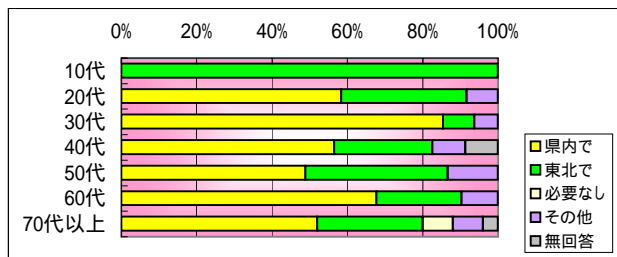
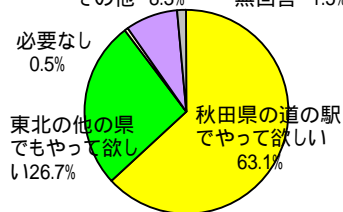


平成17年度の道の駅「てんのう」でのアンケート対応者は、20代、30代で40%を越えている。また、平成16年度と比較し、50代が少なく、20代、70代が多い。結果、若年層と高齢者層が多く、中間年代層が少なかった。

Q：菅江真澄を以前から知っていましたか



Q：このような取り組みについて  
 その他 8.3% 無回答 1.5%



菅江真澄を「知っている」「名前だけは知っている」と答えた人を合わせると45%。昨年と比較し、6%減少。

年代別に見ると20代での真澄の知名度が低く、若年層の関心度はまだ低いことが分かる。

また、この取り組みへの期待度としては、昨年同様、秋田県内及び東北でやって欲しいと答えた人の割合が9割を超えており、期待度が昨年同様高いことを示している。